

生涯教育研修活動報告書

生理検査研究班

- 1 実施日時：2025 年 2 月 2 日 13 時 00 分～16 時 30 分
- 2 会 場 ：BearMedi 事務所 教科・点数：専門教科－20 点
- 3 主 題 ：初級者向け 腹部エコーハンズオンセミナー
～少人数制で安心！ 日頃の悩みや不安を解決しよう！～
- 4 講 師 ：間中 樹里（医療法人社団協友会 八潮中央総合病院）
- 5 協 賛 ：なし
- 6 参加人数：会員 8 名 賛助会員 0 名 非会員 0 名
- 7 出席した研究班班員：間中樹里、南雲涼太

8 研修内容の概要・感想など

今回は初心者を対象とした腹部エコーハンズオンセミナーをおこなった。講師 1 名、被験者 1 名、受講者 6 名、超音波検査装置 1 台の少人数で開催した。講師は超音波検査士 4 領域をもつ間中氏が務めた。

研修会のはじめは、基本断面や検査のポイント等、スライドを用い講義をおこなった。講義は受講者の悩みを共有しながら、時折意見を聞きながら進行した。

講義の後はメインのハンズオンセミナーに移った。各臓器の観察ポイントや陥りやすいパターンなど丁寧に指導していた。進行していくうちに受講者同士でもコミュニケーションをとる場面も多く見られ、全員で上達しようとする雰囲気を感じられた。間中氏の「きれいに画像を撮ることにとらわれて、疾患を見逃すのでは良くない。同じ時間内でおこなうのであれば観察に重点を置くべき」という内容は受講者への重要なメッセージであったと感じる。内容が非常に充実しておりすべての腹部臓器を網羅することはできなかったが受講者の撮像技術や腹部エコーへの姿勢に大きくプラスになる研修会であった。

今年度、生理検査研究班では 4 回の超音波検査のハンズオンセミナーを開催することができた。領域は心臓 2 回（基礎・3 D エコー）・泌尿器 1 回、腹部 1 回と多領域におよび参加者に有意義なものになったと感じる。一般的に民間のハンズオンセミナーは 2 万円程度であることを考えると 5,000 円という低価格で開催できたことも技師会でおこなう意義を大きく感じた。

今年度の生理検査研究班主催の研修会は今回が最後であった。来年度以降も会員の利益になるような研修会を開催できるよう努めていきたい。

提出日：2025 年 2 月 26 日

文責：南雲涼太

生涯教育研修活動報告書

W (半角大文字) eb (半角小文字) 開催で統一

西暦で統一

〇〇検査研究班

1 実施日時 : 2022 年 4 月 1 日 9 時 00 分 ~ 10 時 00 分

確認 !

2 会 場 : Web 開催 教科・点数 : 専門教科 - 20 点

3 主 題 : 〇〇〇

姓と名前の間に全角 1 スペース

4 講 師 : 〇〇 〇〇 (所属施設名は技師会登録名、企業名は正式名称)
〇〇 〇〇 (△△株式会社)

5 協 賛 : あり、なし

ここでは、姓と名の間を詰める

6 参加人数 : 会員 10 名 賛助会員 0 名 非会員 0 名

7 出席した研究班班員 : 〇〇△△ ◇◇★★

8 研修内容の概要・感想など
今回の研修会では・・・
・・・であった。

この報告書は「だより」に掲載されます。
埼臨技文書のルールに従ってください。

記入内容は 1 から 8 の項目。
座長・司会の記入は必要なし

【この文章は埼臨技だよりに掲載するので
次ページ記載の「だより文章作成時の注意点」に従う】

◎文書全体を通して数字は、
1 桁は全角文字、2 桁以上は半角文字を使う。
年月日内の数字も。

(埼臨技のローカルルールだが、
埼臨技文書では従う。
他所では他所のルールに従う。)

ここでは
姓と名の間を詰める

西暦で統一

提出日 ; 2023 年〇月〇日

文責 : 〇〇△△

研究班内で必ず回覧、チェックしてから提出してください。

だより文章作成時の注意点

- ◎ フォントは菌名以外、英数字も含め MS 明朝
- ◎ 数字 1 文字は全角、2 文字以上（11 など）は半角
- ◎ 口語調の不整合（すべて ～である ～であった調で良い）
- ◎ 事（こと）、出来（でき）、尚（なお）、更（さら）、物（もの）、時（とき）、所（ところ）、頂く（いただく）、程（ほど）、為（ため）等はひらがなを用いる
- ◎ ご講演いただいた。 は用いない。
- ◎ 大変有意義な研修会となった。 は用いない。
- ◎ 講師の所属施設は本文に入れない。
- ◎ 医師は〇〇先生ではなく→〇〇医師
- ◎ 医師以外（看護師、検査技師、放射線技師、その他）は→すべて〇〇氏（〇〇技師ではない）
- ◎ 〇〇させていただく。を多用しない。

使用する時は・・・

1. 相手または第三者の許可を得ているかどうか
 2. そのことで自分自身が恩恵を受けるのかどうか
- 文化庁「敬語の指針」より

埼臨技 総務部発